

## 他館や関係機関等と連携した特色ある博物館の取組例

主に地域を中心とした取組例○「ベネッセアートサイト直島」

ベネッセコーポレーションが、瀬戸内海に浮かぶ離島・直島、豊島、犬島で展開するアート活動の総称。地中美術館(登録博物館)、豊島美術館(類似施設)等を拠点として活動。現代アートの島として世界的に注目され、島の観光振興に大きく寄与。

(出典)<https://benesse-artsite.jp/>

○「六本木アート・トライアングル」

多くの文化・芸術施設が集まる六本木地域をアートで盛り上げることを目的に、サントリー美術館(類似施設)、国立新美術館(類似施設)、森美術館(博物館相当施設)の三館で「六本木アート・トライアングル」を形成し、相互割引等の連携の取組を実施。三館は 2009 以降開催されている六本木アートナイトの実行にも携わり、地域全体の芸術文化活動の活性化に取り組んでいる。

(出典)<https://www.suntory.co.jp/sma/roppongi/>

○伊丹市昆虫館(公立・博物館相当施設)

江戸時代の庶民の楽しみ「虫聴き」という風習を現代風にアレンジし、地域の酒造、商店街、文化施設と市民が協働する事業を 2006 年から継続的に実施。実施期間における市街地の活性化だけではなく、年間を通しての事業形成に向けた市民参加が特徴的。2015 年には「第 6 回地域再生大賞」優秀賞を受賞。

(出典)<https://nakumushi.com/>

○和歌山県立博物館(公立・登録博物館)

工業高校等との連携により、地域の観音寺本尊のレプリカを作製、実物は博物館で保管して、現地にレプリカ(お身代わり仏像)を安置した。盗難や災害の被害から文化財を守りながら、信仰環境の変化を少なくする取り組みで、防犯、防災に寄与。

(出典)[https://www.bunka.go.jp/prmagazine/rensai/museum/museum\\_054.html](https://www.bunka.go.jp/prmagazine/rensai/museum/museum_054.html)

## 主に地域を越えた広域的な取組

### ○「自然史・レガシー継承・発信実行委員会」

自然史資料の価値を広く社会に発信し、自然史系博物館の機能強化を図るため、国内の自然史系博物館(兵庫県立人と自然の博物館(登録博物館)、北海道博物館(類似施設)、栃木県立博物館(登録博物館)、国立科学博物館(博物館相当施設)、三重県総合博物館(登録博物館)、伊丹市昆虫館(博物館相当施設)、大阪市立自然史博物館(博物館相当施設)、橿原市昆虫館(登録博物館)、北九州市立自然史・歴史博物館(登録博物館) ほか)が連携して、京町家、酒蔵、仏教寺院など日本の伝統的建築物の家屋も活用しつつ、我が国の独自の文化が育まれたユニークな自然の存在についての展示、調査研究、教育普及等を 2016～2020 年にかけて実施。

(出典)<https://www.hitohaku.jp/infomation/event/legacy-sympo2020.html>

### ○すみだ北斎美術館(公立・類似施設)

2014 年からの美術館の開館に向けたふるさと納税を活用した寄附の募集に始まり、2016 年の開館後も継続的に、クラウドファンディングも活用して全国に向けた寄附の募集を実施。延べ 1 万9千人からの支援を獲得しており、地域に閉じない博物館支援の輪を形成。

(出典)<https://hokusai-museum.jp/modules/Page/pages/view/2900>

### ○「青森アートミュージアム5館連携協議会」

青森県立美術館(公立・博物館相当施設)等の県内5つの美術館、アートセンターが連携し、青森のアートの魅力を国内外に発信する協議会。県民及び観光客による県内の周遊を通して文化、経済、教育など幅広い分野での地域振興を目的とする。

(出典)<https://aomorigokan.com/>

### ○北海道博物館(公立・類似施設)

北海道博物館協会(令和 2 年 4 月現在、加盟館園 125 館園、賛助会員 11 社、個人会員 29 名で構成)の会長・事務局館を務める。学芸職員の交流や共同事業等を促し、道内の博物館園の発展へ寄与。

(出典)<https://www.hkma.jp/>

### ○国立科学博物館(国立・博物館相当施設)

学芸員を対象とした研修や巡回展示物の貸し出しなどを通じて地域博物館を支援。「サイエンスコミュニケーター養成実践講座」では2ヶ月間・計30コマに亘る実践的な講座を完全オンライン(オンデマンド型及び同時双方向型)で実施。「教員のための博物館の日」では事業開催のためのノウハウ提供、物的、人的支援を行い、地域博物館での開催を促している(今年度開催館は全国40館)。

(出典)<https://www.kahaku.go.jp/>

### 主に国際的な取組

#### ○滋賀県立琵琶湖博物館(公立・登録博物館)

湖をテーマとし、多様な水族展示も有していることからフランス国立自然史博物館(フランス)やバイカル博物館(ロシア)など海外の研究機関と連携関係を結び、展示への協力や研究者の受け入れを実施。

(出典)<https://www.biwahaku.jp/about/activity.html>

### ○国立科学博物館(国立・博物館相当施設)

国際深海掘削により採取された標本を保管する国際共同利用センター(世界5箇所のみ)として活動。国内機関等への貸出も行い微古生物学における国内の研究振興に寄与。

(出典)<https://www.kahaku.go.jp/>